



感動の舞台、ふたたび
ミュージカル「新開桜」が上演 8/22、23

昨年上演され反響を呼んだミュージカル「新開桜」が、夢ホールで上演され、市内の小学5、6年生と中学1年生約2,400人が招待されました。この日のために練習を積んだ出演者の迫真の演技に、児童生徒は真剣に見入っていました。吉岡萌花さん（新野中1年）は、「感動しました。このミュージカルを見て、人を思いやることの大切さを学びました」と話していました。



8/21 白熱した試合に大歓声
東京六大学野球オールスターゲーム

「あななんアリーナ」オープン記念として、東京六大学野球オールスターゲームがJ Aアグリあななんスタジアムで開催され、約2500人の観衆が詰めかけました。六大学は、ホームチーム（早稲田、明治、立教大学）とあななんチーム（法政、慶應義塾、東京大学）に分かれて対戦。白熱した試合を繰り広げました。また、各大学応援団やABO60などの応援も試合に花を添えました。



8/23 羽ノ浦町子どもフェスティバル
親子連れで大にぎわい！

羽ノ浦総合国民体育館で「第36回羽ノ浦町子どもフェスティバル」が開催され、親子連れなどたくさんの来場者が、多彩なステージイベントや地元団体による体験コーナーで各種ものづくりを楽しみました。米袋を活用してエコバッグづくりを体験した池添穂花さん（羽ノ浦小6年）は、「袋にひもを通す作業が難しかったです。完成できてうれしい」と喜んでいました。



「まちゼミ」で
和菓子づくりに挑戦 9/3

商店のスタッフが講師となり、専門的知識や技能を紹介する少人数制の講座「阿南まちゼミ」が開催され、御菓子処「もみじや」では、7人が季節の和菓子づくりに挑戦しました。餡子やねりきりを使って「桔梗」や「月うさぎ」などを作った山本志保さん（41歳・横見町）は、「すごく楽しかったです。出来上がったものは和菓子好きの息子にあげたいです」と話していました。



紀伊水道を挟んだパートナー
和歌山県御坊市から訪問団 8/7

昨年11月から紀伊水道を挟んで約50km対岸の和歌山県御坊市と「パートナーシティ協定」を結んでいます。このほど、同市の柏木市長や湯川少年野球クラブの選手ら34名が阿南市を訪問。「あななんアリーナ」や津峯山を見学後、歓迎交流会ではともに阿波踊りを踊って友好を深めました。また、羽ノ浦パビヨン、中野島スポーツ少年団と交流試合を行いました。

9/7 阿南市初！
サテライトオフィスがオープン

阿南市では初のサテライトオフィスを(株)Hanoi Advanced Lab (HAL)（本社：東京都渋谷区）が吉井町の空き民家にオープンしました。HALはIT企業で、地域とつながり、都市に発信していくことも期待されています。開設に尽力された加茂谷元気なまちづくり会の山下会長は、「加茂谷に来てくれて感謝しています。一緒に成長したいです」と話していました。



8/22 モンゴルとの熱い絆
野球交流訪問団、モンゴルに訪問

旧那賀川町時代から続く阿南市とモンゴルの野球交流。草の根活動が実を結び、国を超えて大きな成果を上げています。このほど、野球のまち阿南推進協議会の取組として、野球交流訪問団が再びモンゴルを訪問しました。21日から24日までの期間訪問し、団員として参加した平島ドリーム少年野球部の選手らは、当地の少年野球チームと試合を行うなど、絆を深めました。

